

高崎市立吉井中央中学校の環境教育活動

吉井中央中学校では、様々なアプローチで環境教育活動に取り組んでいます。

これを1. 授業を通しての環境教育活動 2. 委員会を通しての環境教育活動 という視点でまとめました。

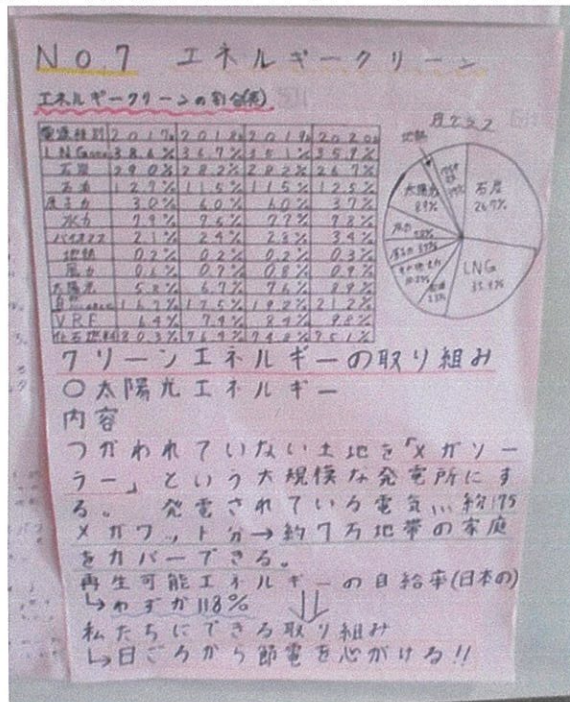
1. 授業を通しての環境教育活動

(1) 総合的な学習を通しての環境教育活動

1 学年では SDGs について学び、調べた物を模造紙にまとめ学年間での発表会をおこないました。

地球温暖化問題や海洋汚染問題、環境の変化からなる生物の多様性問題など様々な環境問題について考えるきっかけになりました。

「12、つくる責任 つかう責任」、「14、海の豊かさを守ろう」、「15、陸の豊かさを守ろう」などは特に自分たちの生活に直結してくる問題です。自分たちの生活の中で環境に配慮していくための改善点や継続していく点などをまとめているグループもありました。



(2) 家庭科の授業を通しての環境教育活動

身近なところから環境問題を考え、中学生にもできることを具体的に提示し、さらに課題を通して生活に生かしていけるようにしました。

例 ・地産地消、食品ロス(2年「食生活と自立」)

- ・伝統的な民家、気候に適した家、家庭でできる省エネルギー(2年「住生活と自立」)
- ・冷暖房に頼らない衣服の着方、洗濯の仕方、衣服のリサイクル(1年「衣生活と自立」)
- ・エコ生活、グリーン購入、3R5R、MOTTAINAI(2年「身近な消費生活と環境」)

2. 委員会を通しての環境教育活動

JRC 委員会によるペットボトルキャップの回収

中央中では毎年ペットボトルキャップの回収を行っています。プラスチックは焼却処分をしてしまうと二酸化炭素が発生してしまうことから、それをリサイクルすることで二酸化炭素の発生を抑制でき、ひいては環境を保全することにつながることを生徒は理解しました。自分たちの身の回りにあるものをリサイクルすることが、環境保全に役立つという実感を持つこともできました。



その他に、今年度はコロナウィルスの関係上実施できませんでしたが、例年夏休み終盤に、PTA 環境整備委員会でのエアコンフィルターの清掃などをおこない電気代の節約を目指しています。現在の環境教育活動を積み重ねつつ、身近な地域にも目を向けながら、さらに活動を広げていきたいと思っています。